



国際常民文化研究機構 共同研究(奨励)成果発表会

郷土舞踊と民謡の会「鹿児島県・棒踊」(日本青年館所蔵)

第6回共同研究フォーラム

「青年と学問」の時代

—昭和戦前期の郷土と民俗学—

青年に対し、学問は何ができるのだろうか

普通選挙実施により政治と言論が大衆化し
地方の農山漁村の文化・生活が着目され
レコードやラジオなどの

新たなメディアが浸透した昭和戦前期において
郷土と青年に民俗学という学問はどのように関わったのか
地方創生に若者の活躍が期待され
大学に地域系の学部がひしめく時代に問い返す

PROGRAM

問題提起

丸山 泰明 (共同研究代表者・天理大学准教授)

日本青年館と地方青年団

—宮城県気仙沼大島の青年団資料による

小熊 誠 (共同研究者・神奈川大学日本常民文化研究所所員)

選挙粛正運動と青年団 —司馬遼太郎の「若衆」観からの問い

室井 康成 (共同研究者・民俗学者)

アチック・ミュージアムと大日本連合青年団の関連性

—アチック同人太西伍一を事例に

小林 光一郎 (共同研究者・神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員)

青年による副業の研究 —郷土工芸を中心に

木村 裕樹 (共同研究者・立命館大学准教授)

青年は「郷土」を踊れたか —「郷土舞踊と民謡の会」の理念と現実

黛 友明 (共同研究者・市川市文化スポーツ部文化振興課)

コメント 重信 幸彦 (東京理科大学非常勤講師)

2019. 7月6日 | Sat | 13:30-17:30
会場/神奈川大学横浜キャンパス 3号館 405 講義室

参加無料
事前申し込み不要



【お問い合わせ】神奈川大学国際常民文化研究機構 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 〒221-8686 Tel.045-481-5661(代) Fax.045-481-3155
国際常民文化研究機構 <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/> 日本常民文化研究所 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/> 神奈川大学 <http://www.kanagawa-u.ac.jp>
【主催】神奈川大学国際常民文化研究機構 International Center for Folk Culture Studies

第6回共同研究フォーラム

「青年と学問」の時代

—昭和戦前期の郷土と民俗学—

青年に対し、学問は何ができるのだろうか。

柳田國男が1928年に上梓した『青年と学問』の出版元であり、柳田の還暦記念として1935年に日本民俗学講習会が開催された日本青年館は民俗学の拠点だった。東京・明治神宮外苑の地を拠点として全国の青年団を結びつけた日本青年館は、郷土の更生をその土地に生きる青年に期待した。青年を主体とし、教育・工芸・芸能を通じて郷土の発展を促そうとする取り組みに、柳田國男や渋沢敬三・今和次郎といった民俗学者も関わっていく。しかし、1937年に日中戦争が勃発し社会情勢が大きく変化する中で、急速に途絶えてしまった。

普通選挙実施により政治と言論が大衆化し、地方の農山漁村の文化・生活が着目され、レコードやラジオなどの新たなメディアが浸透した昭和戦前期において、郷土と青年に民俗学という学問はどのように関わったのか。地方創生に若者の活躍が期待され、大学に地域系の学部がひしめく時代に問い返す。

（共同研究（奨励）課題名：「昭和戦前期の青年層における民俗学の受容・活用についての研究」研究代表者 丸山泰明）



柳田國男『青年と学問』



山袴に関する調査資料
（神奈川大学日本常民文化研究所蔵）

発表者

- **丸山 泰明**（天理大学文学部准教授）
大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）
民俗学
○主な著書・論文
『凍える帝国 一八甲田山雪中行軍遭難事件の民俗誌』（青弓社、2010年）、『渋沢敬三と今和次郎 博物館の想像力の近代』（青弓社、2013年）
- **小熊 誠**（神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科教授）
筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得修了
民俗学、東アジアの民俗学
○主な著書・論文
『＜境界＞を越える沖縄』（編著、森話社、2016年）、『風水と自然観』上原雅文編著『自然・人間・神々時代と地域の交差する場』（お茶の水書房、2019年）
- **室井 康成**（民俗学者）
総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程修了、博士（文学）
民俗学、近現代東アジアの民俗思想
○主な著書・論文
『柳田国男の民俗学構想』（森話社、2010年）、『首塚・胴塚・千人塚ー日本人は敗者とう向きあってきたのか』（洋泉社、2015年）、『事大主義ー日本・朝鮮・沖縄の「自虐と侮蔑」』（中公新書、2019年）
- **小林 光一郎**（神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員）
神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士課程単位取得、博士（歴史民俗資料学）
民俗学、口承文芸研究、民俗学史研究、民具研究
○主な著書・論文
『図解案内 日本の民俗』（共編著、吉川弘文館、2012年）、『鳥取県の妖怪ーお化けの視点再考』（鳥取県、2013年）、『DVDブック甦る民俗映像ー渋沢敬三と宮本馨太郎が撮った一九三〇年代の日本・アジア』（共著、岩波書店、2016年）

- **木村 裕樹**（立命館大学食マネジメント学部准教授）
総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程単位取得退学、博士（文学）
民俗学、民具研究
○主な著書・論文
『木地屋「根元地」の近代』『年中行事論叢ー日次紀事からの出発』（岩田書院、2010年）、『保谷民博旧蔵資料の全容』『財団法人日本民族学協会附属民族学博物館（保谷民博）旧蔵資料の研究』（共著、国立民族学博物館、2017年）、『描かれた轆轤』『鎌形蕙斎画 近世職人尽絵詞ー江戸の職人と風俗を読み解く』（勉誠出版、2017年）
- **黛 友明**（市川市文化スポーツ部文化振興課）
大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）
民俗学、民俗芸能研究
○主な著書・論文
『芸能・共同体・関係性ー伊勢大神楽の事例を通じて』『大阪大学日本学報』第33号（2014年）、『村落共同体とワタクシ』『人文学報』第113号（2019年）

コメンテーター

- **重信 幸彦**（東京理科大学非常勤講師）
筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得退学
民俗学、口承文芸学、近代都市生活文化研究
○主な著書・論文
『タクシー／モダン東京民俗誌』（日本エディタースクール出版部、1999年）、『〈お話〉と家庭の近代』（久山社、2003年）『みんなで戦争ー銃後美談と動員のフォークロア』（青弓社、2019年）

会場

交通のご案内

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用
1番乗場36系統 菅田町／緑車庫行「神奈川大学入口」下車
1番乗場82系統 八反橋／神大寺入口行「神奈川大学入口」下車

※駐車場がありませんので自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ



神奈川大学国際常民文化研究機構

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
Tel: 045-481-5661 (代)

